



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和3年1月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺認知状況

	令和2年12月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	1,772	--	約33億4,100万円	-1,021	約20億5,100万円
オレオレ詐欺(息子・孫などをかたって現金をだまし取る)	414	23.4%	約12億1,400万円	-105	約1億600万円
架空料金請求詐欺(未払い料金や名義貸しなど、架空の請求をする)	111	6.3%	約5億3,900万円	-115	約8億200万円
融資保証金詐欺(実際は融資しないのに、手数料などをだまし取る)	19	1.1%	約2,000万円	+3	約200万円
還付金詐欺(還付金の手続を装って、ATMへ誘導し操作させる)	135	7.6%	約1億7,500万円	-174	約1億7,200万円
その他の手口	13	0.7%	約9,600万円	+13	約9,600万円
キャッシュカード被害の合計	1,080	60.9%	約12億9,700万円	-643	約10億7,000万円
預貯金詐欺(キャッシュカード手渡し型) (キャッシュカードを手渡しで受け取ってだまし取る)	549	31.0%	約6億3,700万円	-395	約4億400万円
キャッシュカード詐欺盗(キャッシュカードすり替え型) (キャッシュカードを封筒に入れさせ、別の封筒とすり替える)	531	30.0%	約6億6,000万円	-248	約6億6,600万円

2 特殊詐欺被害者の傾向

	件数	被害者											
		男性		女性		59歳以下		60歳代		70歳代		80歳以上	
特殊詐欺	1,772	426	24.0%	1,346	76.0%	84	4.7%	99	5.6%	641	36.2%	948	53.5%
オレオレ詐欺	414	78	18.8%	336	81.2%	11	2.7%	19	4.6%	147	35.5%	237	57.2%
預貯金詐欺	549	79	14.4%	470	85.6%	3	0.5%	19	3.5%	190	34.6%	337	61.4%
架空料金請求詐欺	111	59	53.2%	52	46.8%	40	36.0%	23	20.7%	37	33.3%	11	9.9%
融資保証金詐欺	19	13	68.4%	6	31.6%	15	78.9%	1	5.3%	2	10.5%	1	5.3%
還付金詐欺	135	57	42.2%	78	57.8%	1	0.7%	21	15.6%	85	63.0%	28	20.7%
その他の手口	13	8	61.5%	5	38.5%	5	38.5%	3	23.1%	2	15.4%	3	23.1%
キャッシュカード詐欺盗	531	132	24.9%	399	75.1%	9	1.7%	13	2.4%	178	33.5%	331	62.3%

被害者の傾向を性別で見ると、女性が全体の約8割を占めています。

また、年齢別に見ると**70歳以上の方が全体の約9割**を占めています。

3 特殊詐欺だましの手口

(1) オレオレ詐欺

	件数	鞆紛失		使い込み		金銭借用等		妊娠トラブル		その他	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
令和2年1～12月	414	154	37.2%	13	3.1%	52	12.6%	16	3.9%	179	43.2%
令和元年1～12月	519	172	33.1%	56	10.8%	120	23.1%	16	3.1%	155	29.9%
増減	-105	-18	--	-43	--	-68	--	0	--	+24	--

オレオレ詐欺は、息子や孫などを装い、「鞆をなくした。」「会社の書類を間違えて送ってしまった。」「会社のお金を使い込んだ。」「事故を起こして逃げたら捕まった。」などの名目で現金を用意させ、上司や同僚などを装う犯人が直接現金を受け取りに来る手口です。

(2) 架空料金請求詐欺

	件数	名義貸しトラブル		サイト料		訴訟関係(その他)		被害回復		その他	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
令和2年1～12月	111	2	1.8%	77	69.4%	9	8.1%	1	0.9%	22	19.8%
令和元年1～12月	226	34	15.0%	93	41.2%	80	35.4%	0	0.0%	19	8.4%
増減	-115	-32	--	-16	--	-71	--	+1	--	+3	--

携帯電話のメール等を利用し、「**有料サイト登録料金未納**」などを名目にコンビニエンスストア等で**電子マネー**を購入させ、裏面の番号を聞き出したり、収納代行により支払わせる手口です。

また、パソコンを操作中に突然「ウイルスに感染した」や「登録完了」などとメッセージが表れ、表示された電話番号に電話するとウイルス除去費用や登録解除費用を名目に電子マネーを購入して支払うよう指示される手口もあります。



高額の電子マネーを購入する方や電子マネーの購入に不慣れな方、特に高齢者に対し、積極的な声掛けをお願いします。

(3) 融資保証金詐欺

融資に関するメールやFAX等が届き、申し込みをすると、「審査は通ったが、保証金が必要です。」などと言われ、現金を振り込ませるものです。

(4) 還付金詐欺

役所等の職員をかたり「医療費（保険料）の払い戻しがあります。」「今日が期限です。」などと言ってATMに行かせ、携帯電話で操作方法を指示ながら、言葉巧みにATMを操作させてお金を振り込ませるものです。

犯人は、被害者に対する声掛けをさせないようにするため、商業施設や駅前等に設置された無人ATMに行くように指示してきます。



高齢者 + 携帯電話を使用 + ATM操作 = サギ!!

(5) 預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗

言葉巧みに暗証番号を聞き出し、だまし取ったキャッシュカードを使って現金を引き出す手口で、特殊詐欺被害全体の6割以上を占めています。

① 預貯金詐欺

警察官、デパート、家電量販店、役所などをかたり、

「詐欺の犯人を捕まえたら、あなたの名前が入った名簿が出てきた。」

「あなた名義のカードを使って高額な買い物をしている人がいる。」

「医療費の還付金があります。」

などと連絡し、その後、銀行協会や金融庁などの職員を装った犯人から、

「個人情報が出ているため、キャッシュカードの交換手続きが必要。」

「あなたのキャッシュカードが古いので、新しくする必要があります。」

と電話があり、手続きに必要という理由で暗証番号を聞き出し、被害者宅を訪れた受け取り役の犯人が、古いカードの回収を名目にキャッシュカードをだまし取る手口となっています。

② キャッシュカード詐欺盗

預貯金詐欺と手口は似ていますが、預かるのではなく、

「新しいカードが届くまで、この封筒に入れて保管して下さい。」

と言って、あらかじめ犯人が用意した封筒にキャッシュカードを入れさせ、

「封筒に封印をするので、印鑑が必要です。」

などと言って、被害者が印鑑を取りに離れた隙に、あらかじめ用意していたカード等が入った封筒とすり替える手口です。

また、ハサミでキャッシュカードに切り込みを入れ、使えなくなると安心させ、「古いカードを回収します。」と言って、キャッシュカードを持って行く手口もありますので、

「暗証番号は教えない」「キャッシュカードは誰にも渡さない」

ように注意をお願いします。



電話で「キャッシュカード」と言われたら それはサギ!!

4 特殊詐欺の被害防止状況

令和2年中は、関係機関・団体の皆様の御協力もあり、認知件数、被害額ともに前年より大幅に減少し、被害を793件も未然に防止していただいております。本年も、皆様と連携し、1件でも多くの被害を防止していきたいと思っておりますので、引き続き、広報啓発活動や迷惑電話防止機能付き電話機等の普及促進にご協力をお願いします。

